

**世界 130 カ国、3,300 の金融機関が加盟する“Efma”主催
 「Distribution & Marketing Innovation Awards 2018」にて、
 SBJ 銀行とグローバルモビリティサービスの協業ローンが最高賞を受賞**

<https://www.global-mobility-service.com/>

株式会社 SBJ 銀行（本店：東京都港区、代表取締役：富屋 誠一郎）と、Global Mobility Service 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員/CEO：中島徳至、以下「GMS」）が提供する FinTech サービスを活用した画期的なオートローンの取り組みにおいて、European Financial Management & Marketing Institution（以下「Efma」）主催の「Distribution & Marketing Innovation Awards 2018（以下「DMI Awards 2018」）「Social, Sustainable & Responsible Banking」部門において、最高賞を受賞しましたのでお知らせいたします。

「Efma」とは、金融のイノベーションを推進することを目的として、1971年に設立された、パリに本部を置き 130 カ国に 3,300 以上の会員を擁する非営利団体です。「DMI Awards 2018」は Efma が主催する、金融機関による世界中のイノベティブな取り組みやプロジェクトを表彰し、金融サービスにおけるイノベーションを加速するために行われるもので、今回は世界 59 カ国、180 の金融機関から 421 事例の応募がありました。

本取り組みは、GMS の FinTech サービスを活用することにより、従来はローンの与信審査に通過し辛いものの「仕事をするために車を必要とする」人々へ、与信審査通過枠を拡大しローンの活用機会を創出することを可能にしています。それによる雇用の創出・所得の向上等を実現するソーシャルインパクトが評価され、この度最高賞に選出されました。



【最高賞を受賞した、SBJ 銀行と GMS の協業ローン】

GMS は、独自の自動車を始めとするモビリティの遠隔起動制御を可能にする IoT デバイス「MCCS※1」とモビリティサービスプラットフォーム「MSPF※2」を活用し、日本やフィリピン、カンボジアを始めとする東南アジア各国を中心に、これまでローンやリースを活用したくともできなかった人々が、ローンやリースを活用できるようになる FinTech サービスを提供しています

SBJ 銀行は、GMS の MCCS と MSPF を活用した、従来はローンを提供することが困難であった顧客層への画期的なオートローンを、日本国内において提供しています。

※1「MCCS」とは、Mobility-Cloud Connecting System の略称で、自動車を始めとするモビリティの位置情報を特定すると共に、安全に自動車のエンジン遠隔起動制御、各種情報センシングを可能にする IoT システムです。

※2「MSPF」とは、Mobility Service Platform の略称で、モビリティを対象とする管理・制御・データ分析等を行い、クラウド上で Open API を通じた外部システムとの連携を可能にするプラットフォームシステムです。

GMS は、SBJ 銀行を始め今後提携が加速するファイナンスパートナー企業各社と共に、FinTech サービスを活用した画期的なオートローンを提供し、真面目に働く人が正しく評価され豊かな生活を送ることができる社会の実現に向けて取り組んでまいります。

これからの GMS の取り組みに、どうぞご期待ください。

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

Global Mobility Service 株式会社 担当：高橋、野崎

電話：03-6264-3113（代）

E-mail: press@global-mobility-service.com

<Global Mobility Service 株式会社について>

設 立：2013 年 11 月

本 社：東京都港区芝大門一丁目 12 番 16 号 住友芝大門ビル 2 号館 4 F

代 表 者：中島 徳至（代表取締役 社長執行役員/CEO）

事業内容：・モビリティサービスプラットフォーム（MSPF）の提供
・クラウド上に蓄積したビックデータの二次活用サービス